

令和3年7月号

ゆう's ねっと

つくり すこしずつ行こまいか

ENA

発行／恵那市青少年育成市民会議 第38号

第17回 恵那市少年の主張大会

6月12日(土曜日)、恵那文化センターで、第17回恵那市少年の主張大会を開催しました。市内8中学校の代表生徒が熱い思いを発表する様子は、YouTube 恵那市公式チャンネルで生配信されました。審査の結果、恵那東中学校の陶川美穂さんが最優秀賞に選ばれました。最優秀作品全文と、優秀・奨励賞作品の要約を紹介します。



私はHSPです。HSPとは非常に感受性が強く敏感な気質をもった人のことです。この言葉を知るまでは、思うように周りの仲間と同じことができない自分を、ずっと責めていました。

中学校に入学してすぐの頃、廊下で誰かとぶつかってしまい咄嗟に謝りました。すると、「謝りすぎだよ。」と言われました。私自身それほど言っていないつもりでしたが、相手にはそう感じたようでした。そのようなことが何度かありました。誰かと話すときは相手の表情ばかり伺い、思ったことをなかなか言うことができませんでした。たとえそれが家族であってもです。人からの誘いを断ることもできないので周りに流され、自分の気持ちを見過してしまいました。授業で行う作業などは、細かいところが気になってしまい時間がかかってしまうことも少なくありませんでした。「あの時こうしていれば…」、「あの時ああ言っていれば…」など、過ぎてしまったことを後悔し、不安で眠れない日々が続きました。心も体も疲れやすく、みんなと同じように生活できない自分が本当に嫌いでした。しかし、そんなどん底にいた私を救ってくれる出来事が起こったのです。

ある日、母が「これかもしれないよ。」と私に見せてきた物があります。HSPの記事です。ある芸能人の方が自分のことを公表しているものでした。私は気になってHSPのことについて調べてみました。すると、生まれつきの特性で過剰な刺激を受けやすいこと、自己否定が強いこと、疲れやすいことなどの特徴がいくつか書かれており、自分はそのほとんどが当てはまっていました。でも私は、その芸能人の方がどうしてHSPであることを公表したのだろうか疑問に思いました。その方について調べてみると、HSPの特徴である繊細さを、司会やMCなどで生か



自分を受け入れること

最優秀賞

恵那東中学校 3年生

陶川 すがわ美穂 みほ

せること、また、周りに知ってもらうことによって楽になったことなど前向きな言葉ばかり出てきました。その時私は、初めてHSPが、自分にとって悪いことばかりでなく、良いこともたくさんあるのだと知りました。それからの私は、少しずつではありますが、心が軽くなっていった気がします。自分に対する理解が深まって楽になりましたし、当たり前だと思ったことが他の人とは違うのだということも発見できました。

HSPは病気ではないので、治るものでもありません。だから私も、人が変わったわけではありません。人間は生きていけば誰でも悩みます。ただ、悩みはあっても軽く考える人、気にしすぎてしまう人それぞれいると思います。悩みをどう処理するかが重要なことです。気にしすぎてしまう人にとっては、処理すること自体が難しいことです。でも、少しずつでもいいので受け入れていくのです。自分に対することすべてが思い通りにいく人は一人もいません。自分自身を理解し、上手に付き合っていくことが大切だと私は思います。また、行動や環境を変え、工夫することによって、気持ちの変化が表れます。ある芸能人の方は、HSPを自分の「宝」と言っていました。私も、それが人とは違う「短所」ではなく、「他者への気遣いができること」という「長所」として、自信をもって生きていきます。

それに加えて、周りに理解してもらうことも大切なことです。自分のことを話すのはとても勇気のいることなので話す話さないは自由ではありますが、信頼できる人に話せばきっと分かってもらえるはずですよ。私は話すことによって心が楽になり、救われました。ちゃんと受け入れてくれる人がいる。世界は思っているよりずっと優しい。きっと大丈夫。前を向いて進んでいこう。

優秀賞(3名)

※発表順



自分にできること

上矢作中学校
3年生 小木曾結菜

へアドネーションをしたことで、社会の役に立ちたいと思うようになりました。コロナ禍での不安な日々。人と触れ合うことができない今、どんなことが人の役に立つのか。我慢ではなく、周りの人を「守ること」。コロナ禍でもできることを実践していくこと。役に立つことは、身近な生活の中にもたくさんあります。



ふだんのくらしをしあわせに

串原中学校
3年生 堀切 楓

福祉という言葉から何を思い浮かべますか。普段の暮らしに足りないものを補い合うことで、誰もが「ふだんのくらしをしあわせに」できます。福祉は他人事ではなく、誰もが関わっていること。私たちができることは、知ること、学ぶこと、コミュニケーションの力を鍛えることです。



ばあばの死から始まった私の生き方

恵那西中学校
3年生 安江満友菜

祖母の死をきっかけに、私の生き方は大きく変わりました。生きるすべての時間を大切にしたい。今生きている私たちが一緒に過ごす時間は、二度と手に入れない、かけがえのないもの。人生のどんな瞬間でも、共に生きる喜びを感じ、大切な人との日々を明るく照らしたいです。今、この時を一生懸命に。

奨励賞(6名)

※発表順



声の力

恵那北中学校
3年生 水野 耕助

声には人を救う力がある。声の持つ力の大きさを、一人でも多くの人に伝えたい。目に見えないものと戦い続けているコロナ禍の今だからこそ、目に見えない声の力を信じていきたいと思います。あなたの声が、この困難な時代を乗り越える、大きな力となるはず。「今日も一日、頑張ろう！」



今を精一杯生きる

岩田中学校
3年生 神谷 花

人は、失って初めて大切なものに気付けるのかもしれない。母の死を経験し、普通に生きられることの素晴らしさ、何気ない日常の幸せを痛感しています。それは当たり前なことではなく、奇跡。だから私は、かけがえのない今を前向きに生きる。当たり前前に感謝し、自分にできることを精一杯やり充実させる。



限られた仲間の大切さ

恵那東中学校
3年生 鷹見 蓬来

同じ教室にいる人を大切に思っています。苦手な人に出会っても、笑顔で話すように心がけると、自然と良いところが見えてきます。心を開いて仲間へ貢献すると、助けてもらえるようになります。一面だけで判断せず、身近な人を大切にしてください。人間関係が広がり、自分の成長につながります。



僕にできること

山岡中学校
3年生 糟谷 暁

事故で救急搬送された際、地域の人に助けられた経験から、地域の方に支えられていることを実感。「地域のためにできることは何だろうか」と考え始めました。積極的に関わり、ボランティア活動に友達を誘う。これが、地域を盛り上げていくために今の僕にできること。地元を好きな人を増やしていけたら。



大切な地域の伝統と人の思いをのせて

恵那西中学校
3年生 永谷 真波

飛鳥時代からの言い伝えを守り抜く正家の祭り「お田植え祭」は、同年代の参加者や踊り手が減ってきています。私は、伝統を守り抜こうと一生懸命で温かい地域の人や、その思いが集結するお田植え祭が大好き。私は、地域の人たちの思いをのせ、踊り続けます。恵那の魅力を残す第一歩として…。



本当の楽しさ

明智中学校
3年生 鈴木 智宏

難しいこと、分からないことがあっても、試行錯誤を繰り返し完成させることが大切。本当の楽しさは、人との関わりや、自ら何かに取り組むことで見つけられます。当たり前前だったことが制限される時代だからこそ、視野を広げたり、見る角度を変えたりして、自分が本当に楽しいと思うことを見つけませんか。

寄せられた感想

●中学生は多感な時期ですが、いろいろなことを考え、自分なりの行動を起こしているのね。(50代女性)

●子どもたちは見た目以上に成長し日々学んでいるんだな。ぜひ同世代の子たちにも聞いてほしい。(40代男性)

●日常の中で気付き、悩み苦しむ傷つき、前向きに進んでいくこととする姿が伝わってきた。(40代男性)

●高齢者と若い世代の思いがずれていてと発見。今の若い子は…と思っていたが、見直した。何かの機会で見直して話してみたいな。(60代男性)

●中学生の考え、思いが大人の心を動かす素晴らしい大会。(30代男性)

●大人顔負けの発表。大人になると忘れがちな感謝に気付かされ、初心に戻れた。(40代女性)

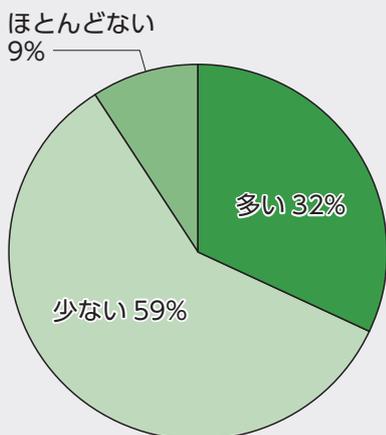
●どの子もみずみずしさにあふれ、聞いていてすがすがしい気持ちに。私たちも、子どもの元気に負けないようこれからの人生まだまだ頑張らなきゃと教えてもらった。(40代女性)

子どもたちの姿、見えていますか？

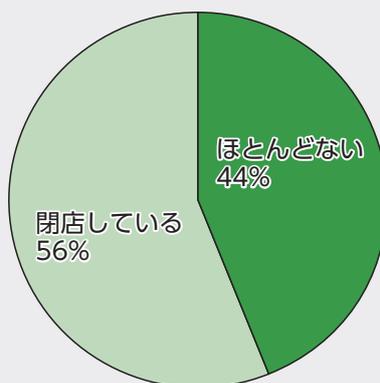
令和2年度 青少年健全育成アンケート結果

恵那市青少年育成市民会議では、コンビニや書店、カラオケ、パチンコ、スーパーなど、青少年が立ち寄りそうなお店を対象に、アンケートを実施しています。青少年の店の立ち寄り動向や、行動について気付いたことなどを調査しました。令和2年度は、12月から1月にかけて市内81店舗へ依頼し、35店舗から回答がありました(回答率43.2%)。ここでは、主な結果を紹介します。この調査結果は、恵那警察署や学校など関係機関へ情報提供し、巡回や生徒指導に活用いただいています。

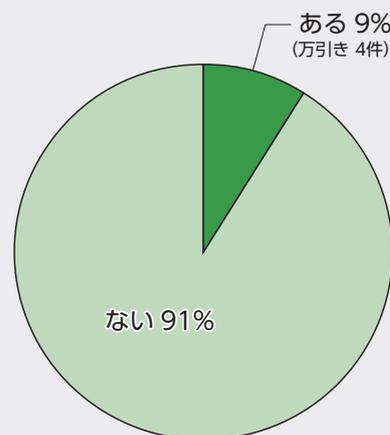
青少年の店への立ち寄り



夜10時以降の青少年の立ち寄り



ここ1年くらいに青少年の不正行為などによる被害を受けたことがあるか



良い姿

- あいさつができる子が多い。
- お金の出し方が雑な友達に注意できる子もいる。
- 礼儀正しい子ばかりで感心する。
- コロナ対策に配慮し、団体での打ち上げをなくすなどしていた。
- 「おはようございます」「いってらっしゃい」と声を掛けると、「ってきます」と返してくれる子が多く、気持ちがいい。
- 警備員に対して一礼してくれる。
- 高齢の方にレジを譲ってあげていた。
- 会計後にお礼が言える。

気になった姿

- 少数ではあるが、勉強で長時間滞在したり、大きな声でしゃべったりする子がいる。
- 混雑時に大人数で来店し、買い物をせず他のお客さんの邪魔になってしまう。
- 無断でスマートフォンの充電をする。
- スタッフの動画などをSNSに投稿してしまう。
- 店内のWi-Fiを利用し長時間滞在する。
- 店内がポケモンGoのスポット。駐車場を占領されて、他の買い物客が入れない場合が多々ある。
- 大きなカバンを背負ったままで、他のお客さんの通行を妨げてしまう。

なや ひとりで悩んでいませんか？ はな だれかに話してみませんか？

ひきこもり

いじめ

不登校

進路

友人関係

親子関係

不安

就労

等

いろいろな悩み、心配事はありませんか？

岐阜県内には、悩みをかかえる皆様が、相談できる場所があります。

どのような悩み、心配事でも大丈夫！気軽にご相談ください！

岐阜県青少年SOSセンター

電話 0120-247-505 24時間365日対応 相談は無料です。

FAX 0120-505-783

メール s-soudan@govt.pref.gifu.jp ※午後7時～翌朝9時までは返信できません。

★どのような悩み事でも相談できます。秘密厳守はもちろん、匿名で相談することもできます。



全国統一24時間子供SOSダイヤル

電話 0120-0-78310 24時間対応可能(夜間・休日・祝日もOK)

★いじめ、不登校、学習、友達・家族関係等の相談ができます。相談は無料です。



東濃地区少年サポートセンター

多治見警察署内

電話 0120-783-802 24時間対応可能

ネット安全・安心ぎふコンソーシアム

ネットトラブルなどに関する情報は、ネット安全・安心ぎふコンソーシアムのウェブサイトにも掲載されています。

保護者の方も、ぜひご覧ください。



お問い合わせ

恵那市青少年育成市民会議 事務局 恵那市教育委員会事務局 生涯学習課

TEL 0573-26-2111(内線474)